

公開シンポジウム

東アジア諸言語の漢字

変形・変用の

創造と標準化

日本で「国字・和製漢字」や「万葉仮名」が誕生したように、異言語の記録に適応すべく漢字は漢字文化圏の周縁部で独自の発展を遂げた。中国南部からベトナムに至る広大な地域では独特な漢字を使用する言語が幾つも現れている。独自の字形や用字が創造される、または変化が生じる場合、そこに通言語的な規則は見出しているのか。可変的な文字「漢字」に潜む力を問う。

講演1 ベトナム語

10:10 ▶ グエン・ティ・オワイン

(ベトナム社会科学アカデミー)

ベトナムの漢籍における俗字、略字現象とその字喃の構造への影響

講演2 タイ語

13:00 ▶ 清水政明 (大阪大学)

The Role of Vietnamese Nôm in the Development of Tày Nôm

講演3 南部チワン語

14:30 ▶ 戴忠沛 (香港大学)

Historical Transformation of Zhuang Characters: Illustration from the Manuscripts of Yang Zhuang Speaking Area

講演4 広東語

16:00 ▶ ロバート・パウワー (香港大学)

Hong Kong's Written Cantonese:

Processes, Basic Principles, and Problems to be Resolved

総括

17:20 ▶ 討論

2016.3.21(月) 10:00-18:00 ◀ 日時 ▶ 2016.3.23(水) 10:00-18:00

大阪大学 豊中キャンパス ◀ 会場 ▶ 東京大学 駒場Iキャンパス
大阪大学会館 2階 会議室 21KOMCEE East 2階 K211

参加費・参加登録不要

主催：科研費 基盤研究B「変形漢字と変用漢字の類型研究」(代表者：東京大学 吉川雅之)

プログラム・アブストラクト：http://www.ac.cyberhome.ne.jp/~hongkong-macao/grant-in-aid_2013-2015.html